



なんすん
地区版広報誌

～組合員の皆さまとJAふじ伊豆 なんすん地区をつなぐ地区版広報誌～

FujiIzu⁺Plus

ふじ伊豆

2026
10
vol.27

2026年10月1日発行

米生産者

石井 隆さん(44)

なんすん耕種部会となんすん玉葱部会に所属し、沼津市大平地区で水稻を3.2ヘクタール、タマネギを6アール生産しています。6年前から水稻栽培を始め、栽培する「きぬむすめ」は1年目からJAが定める厳しい品質基準を満たし、ブランド米「するがの極」として出荷しています。播種から収穫まで細心の注意を払い、施肥や防除、水の管理を徹底し栽培しています。ぜひお召し上がりください。



するがの極

栗ご飯

中面でレシピを紹介しています!



一面に広がる田園風景
沼津市大平の水田から

令和8年8月撮影



なんすん営農経済センター
新井琴子 営農アドバイザー
なんすん耕種部会では、安全・安心でおいしい米作りのため、定期巡回の他、ドローンやデジタル技術などスマート農業を導入し、品質管理に努めています。

沼津市大平地区は米の生産が盛んで、美しい田園風景が一面に広がっています。秋には実り豊かな稲穂が風に揺れ、黄金色の美しい景観を作り出します。豊かな自然と清らかな水で育む米は品質が高く、生産される「きぬむすめ」のうち、食味値などの厳しい基準を満たした一等米だけをブランド米「するがの極」として出荷しています。表紙の石井さんは7年前に就農し、その翌年から稲作を始めました。「栽培1年目から『するがの極』の基準をクリアできたのは家族や先輩農家、JAのおかげ」と話し、仲間と日々知識と技術を磨き、おいしい米作りに励んでいます。

インフォメーション

農業用廃プラスチック回収

対象 なんすん地区の部農会員

回収品目 ・農業用ポリエチレン ・農業用塩化ビニール ・農業空ポリ容器
・肥料ポリ袋 ・農業空き缶 ・農業空き瓶 ・肥料紙袋

※農業の容器は、洗浄し乾燥していることを確認してください。

※農業空き缶は缶に穴を開けて、中が揮発していることを確認してください。

※回収品目をそれぞれ分別してください。

回収場所・回収日時 (雨天決行)

①【西浦みかん営農経済センター】
令和8年11月24日(火) 8:30~10:30

②【すそのLPガスセンター】
令和8年11月24日(火) 13:30~15:30

③【製茶工場】
令和8年11月25日(水) 8:00~12:00、13:00~14:00

※12:00~13:00は昼休憩とさせていただきます。

回収費用 おおよそ94円/kg(税込)

申込方法 「農業用廃棄物適正処理回収申込書」を各営農経済センター・支店へ
10月30日(金)までに提出してください。申込書は各店舗にございます。

※申し込みのない方は回収することができませんので、必ず事前申し込みをお願いします。

お問い合わせ 地区購買課 ☎055-931-3132

沼津農林まつり開催

地元の新鮮野菜がずらりと並び、大勢の来場客でにぎわいます。皆さまのお越しをお待ちしています。

日時

令和8年12月13日(日) 9:30~14:00

場所

ブラサヴェルデ(キラメッセぬまづ)
(沼津市大手町1-1-4)

お問い合わせ

地区営農販売課
☎055-933-7009



手揉み茶講座 金岡地区で初開催

沿津茶手揉み保存会は8月2日、金岡地区センターで手揉み茶や茶の入れ方などを体験する講座を開きました。金岡地区の小・中学生24人と保護者6人が参加しました。

同講座は、同保存会の取り組みや地元特産の茶について知識を深めてもらおうと、金岡コミュニティ推進委員会が企画。同保存会のメンバー9人が講師を務め、茶の手揉み工程などを説明しました。



女性部員等に教わりながらソーセイジ作り

女子大学で料理教室

女子大学なんすんキャンパスは7月16日、本店の生活センターで料理教室を開きました。同キャンパスの受講生23人が参加し、女性部なんすん地区本部の部員4人からソーセイジとバジルパンの作り方を学びました。

参加者は女性部員からアドバイスを受けながら熱心に取り組み、世代を超えた楽しい交流の場になりました。

7/16



目ぞろえ会で、出荷規格を確認する生産者

オクラ初出荷 出来栄え良好

7/30

沿津ねがた白ねぎ部会に所属する8人の生産者が、本年度からオクラを試験栽培し、7月31日に初めて出荷しました。出来栄えは良好で、鮮やかな緑色の柔らかいオクラに仕上がりました。

前日の30日には、あしたか山麓営農経済センターで目ぞろえ会を開き、生産者やJA職員など計11人が参加しました。

本取り組みは、同センターの足立卓信職員が、生産者の所得向上と通年で安定収入を得ることを目的に、白ネギ生産が落ち着く夏場に栽培できる作物としてオクラを提案したのがきっかけ。JA静岡経済連が協力して栽培講習会を開き、希望者に種子を無料配布しました。「オクラ研究会」を立ち上げ、6戸の農家が9アールの畑で試験栽培しました。

足立職員は「オクラは夏の暑さに強く、比較的栽培しやすい作物。本年度の作業単価や正産品単価を検証した上で、生産拡大を検討していきたい」と話しました。

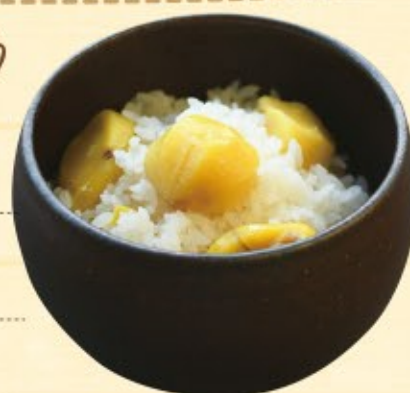


ほくほく 秋のごちそう 栗ご飯

作り方

- 1 栗の鬼皮・渋皮をむき、1時間ほど水にさらしてアクを抜きます。
- 2 米を洗ってざるに上げ、水を切っておきます。
- 3 鍋にたっぷりの湯を沸かし、1の栗を1～2分下ゆでします。
- 4 炊飯器の内釜に2の米と酒、塩を入れ、2合の目盛りまで水を注いで軽く混ぜます。(※)
- 5 4に3の栗を入れ、通常の白米と同じように炊きます。

※新米の場合は、水の量を少し少なめにするのがおすすめです



材料 (約4人分)

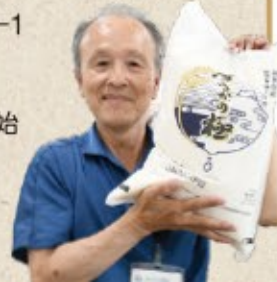
米…2合
栗(皮つき)…200g
酒…大さじ1
塩…小さじ1



米と栗の購入はこちら！ 金岡産直市

住所 沼津市東熊堂600-1
営業時間 9:00～16:00
定休日 第2水曜日・年末年始
電話 ☎ 055-923-8318

金岡産直市 小澤店長の おすすめ



JAブランド米「するがの極」の他、レジ横のお米コーナーでは、玄米を量り売りしていますので、その場で精米したての新米を購入できます。

トライアル研修生を受け入れ

なんすん地域受入連絡会は6月～9月の間、県の「就農トライアル事業」で研修生5人を受け入れました。

7月13・14日には、ミカン農家の海瀬元浩さんが栃木県の20代男性の研修生を受け入れ、園地視察や除草作業を行いました。

同連絡会は、産地の維持・発展と担い手の育成を目的に、就農希望の研修生の受入体制を強化しています。



海瀬さんの園地を視察する研修生(左)

7/13



薬剤を積んだ農業用ドローン

7月～8月

水稲ドローン一斉防除

7月下旬から8月下旬にかけて、沼津市・裾野市・長泉町・清水町の水田で、委託業者SKY・U(株)によるドローン一斉防除を行いました。

沼津市大平地区では、これまでヘリ防除が主流でしたが、本年度からドローン防除に移行しました。

ドローンによる一斉防除で、生産者や部農会の労力軽減につながっています。

